

2005 年、2009 年、2012 年、2014 年、2017 年、2021 年、2024 年 度岩木健康増進プロジェクト健診にご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学医学部附属病院
消化器内科、血液内科、免疫内科
研究責任者： 佐藤 諭

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 *Helicobacter pylori* の感染と除菌が身体へ与える影響についての横断・縦断研究

研究の目的

ヘリコバクターピロリ *Helicobacter pylori* (ピロリ菌) 感染は胃潰瘍、胃癌の要因となる以外に、動脈硬化、骨粗鬆症、サルコペニアなど生活習慣病と関連することが知られています。また、ピロリ菌の感染により胃酸分泌能が低下すると口腔内細菌が胃内で殺菌されず腸内へ侵入する結果、腸内細菌叢が乱れますが、腸内細菌は腸管以外の様々な臓器と密接に関連するため腸内細菌叢の乱れは様々な全身疾患の発症と進展に関与することも知られています。そのためピロリ菌の除菌治療は消化器疾患だけでなく、生活習慣病の予防と治療に寄与する可能性があります。

消化器血液免疫内科学講座では 2005 年から 2024 年にかけて血清抗体と便中抗原検査で *H. pylori* 感染・除菌状態を、ペプシノーゲン法で胃粘膜萎縮を評価してきました。本研究では *H. pylori* 菌の感染と除菌状況とそれに伴う胃粘膜萎縮が生活習慣病に及ぼす影響を食習慣、飲酒喫煙習慣、血液尿検査、口腔腸内細菌叢、メタボロームなどの影響を踏まえたうえで横断・縦断的に調査検討することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

対象となる方 2005 年、2009 年、2012 年、2014 年、2017 年、2021 年、2024 年度の
岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発(2005 年: 2005 年 4 月 7 日承認 2009 年: 2009-015 2012 年: 2012-050 2014 年: 2014-014 2017 年: 2021-030 2021 年: 2020-046-5 2024 年: 2023-191-3)において 2005 年、2009 年、2012 年、2014 年、2017 年、2024 年に取得された以下のデータを研究責任者である飯野勢の責任の下、標記研究課題実施のために利用します。

- ☐ 個人記録票 (ID、性別、年齢、身長、体重、臍位腹囲長、ウエスト/ヒップ、握力、上腕・下腿周囲径、長座体前屈、全身反応時間、脚伸展・屈曲筋力、体幹筋力立ち上がりテスト、2 ステップテスト、TUG テスト、ペグボード、10m 最大歩行時間)

- ☐ 健康調査票(現在の健康状況について、食習慣について、禁酒・飲酒について、労働状況について、運動習慣・身体活動習慣について、入浴習慣について、睡眠について、日常生活動作について、心の健康度について、社会的な結びつきについて、日常の生活行動について、歯と口の健康について、騒音曝露について、鼻症状について、皮膚について、胃の調子について、便秘について、排尿状況について、整形外科に関する質問)
- ☐ ヘリコバクターピロリ判定 (除菌時期、除菌成否、胃切除歴 (時期・術式)、便中抗原、PG1、PG2、PG1/2 比、ラテックス、E プレート)
- ☐ 上腹部症状 (痛み・胸やけ・むかつき・もたれ) についてのアンケート
- ☐ 腸内細菌叢 (リード数、比率)
- ☐ 口腔内細菌叢 (リード数、比率)
- ☐ お薬手帳
- ☐ 体組成 (TANITA、InBody)
- ☐ 四肢血圧 (PWV、ABI、CAVI)
- ☐ 骨密度 (超音波) 踵骨、骨密度 DXA 法 橈骨 [骨密度(g/cm²)、T スコア(SD,%)、Z スコア(SD,%)]
- ☐ 歯織、歯数、う歯、歯周炎、オーラルディアドコキネシス、顎関節症、舌圧、パタカ、口腔粘膜湿潤度測定、歯みがき習慣と口腔内環境について、口腔内細菌カウンタ
- ☐ 食事調査(BDHQ、FFQ)
- ☐ 認知機能検査(MMSE)、簡易認知機能スケール「あたまの健康チェック」
- ☐ 肝硬度 E_med.(kPa)・脂肪量 CAP_med.(dB/m)測定
- ☐ 血液、尿メタボローム解析
- ☐ 呼気ガス(H₂, CO, CH₄)
- ☐ 血清オブソニン活性
- ☐ 呼吸機能検査 (スパイロメーター)
- ☐ AGE 検査
- ☐ 視力
- ☐ ロコモ 25 判定
- ☐ 血液検査

白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、HbA1c、総ビリルビン、AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GTP、躁蛋白質、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、中性脂肪、ナトリウム、カリウム、クロール、血清血糖、HDL コレステロール、Alb、LDL コレステロール、ALP、IgA、IgG、IgM、C3、C4、アポ蛋白、1.5-AG、グリコアルブミン、フェリチン、TSH、セレン、遊離テストテロン、コルチゾール、ACTH、血漿レニン、腓骨カルシウム、抗核抗体、総ホモシステイン、心筋トロポニン T、心筋トロポニン I、セロトニン、浸透圧・血清、リポ蛋白(a)、MDA-LDL、MMP-3、抗ヘリコバクターピロリ抗体、ペプシノーゲン、ペントシジン、バゾプレシン、シスタチン C、hANP、G-CSF、TARC、遊離 T4、遊離 T3、オステオカルシン、PTH-インタクト、1 α 25

ビタミンD、IFN- γ 、LRG、血管内皮増殖因子、プロラクチン、カテコール3分画、カルシトニン、ICTP、プロゲステロン、抗ミュー管ホルモン、亜鉛、血清銅、不飽和鉄結合能、総鉄結合能、RLP コレステロール、Lymphocyte、全脂質脂肪酸分画、全脂質脂肪酸・濃度、全脂質脂肪酸分画・%、インターロイキン1 β 、インターロイキン-6、インターロイキン-8、インターロイキン-10、インターロイキン12、遊離脂肪酸、トータルPAI-1、HBs抗原：CLIA、判定（HBs抗原：CLIA）、濃度（HBs抗原：CLIA）、HCV抗体II CLIA、判定（HCV抗体II CLIA）、S/CO値（HCV抗体II CLIA）、ヒアルロン酸、M2BPGi、IV型コラーゲン-7S、高感度CRP、腫瘍壊死因子- α 、アディポネクチン、抗CCP抗体、エストラジオール、テストステロン、アルドステロン、DHEA-S、BNP、LH、FSH、NTx、ucOC、TRACP-5b、totalPINP、25OHVD分画、25OHVD2、25OHVD3、インスリン、Cペプチド、総ホモシステイン、LDH、好酸球数、IgE（RIST）、レプチン、アミノ酸分画、タウリン、Pエタノールアミン、アスパラギン酸、Hyプロリン、トレオニン、セリン、アスパラギン、グルタミン酸、グルタミン、サルコシン、 α アミノアジピン酸、プロリン、グリシン、アラニン、シトルリン、 α アミノn酪酸、バリン、シスチン、メチオニン、シスタチオニン、イソロイシン、ロイシン、チロシン、 β -アラニン、フェニルアラニン、 β -アミノイソ酪酸、ホモシスチン、 γ -アミノ酪酸、Mエタノールアミン、ヒドロキシリジン、オルニチン、1メチルヒスチジン、ヒスチジン、リジン、3メチルヒスチジン、トリプトファン、アンセリン、カルノシン、アルギニン、アロイソロイシン、フィッシャー比

□尿検査

アルブミン、クレアチニン、クレアチニン補正值_尿中アルブミン値、1日尿酸換算値、アルドステロン、コルチゾール、メタネフリン、Cペプチド、8-OH-dG、糖、ペントシジン、NAG、 β 2MG、浸透圧、カリウム、CA3分画、ナトリウム、アクアポリン2、尿素窒素、デオキシピリジノリン、NTx

□ 2005年、2009年、2012年、2014年、2017年、2021年、2024年の全年度受診した参加者を特定するための結び付けID

具体的には各年度におけるピロリ菌未感染者、持続感染者、除菌治療者の3グループに分けて、動脈硬化度、骨密度、握力、筋肉量、血糖値、HbA1c、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、微量元素、好中球機能、口腔腸内細菌など様々な項目を比較します。また、ピロリ菌の調査を開始した2005年から2024年にかけての上記項目の変化についても調べます。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。

受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。参加者／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器内科、血液内科、免疫内科 佐藤諭 住所：〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話：0172-33-5111 FAX: 0172-37-5946 メールアドレス: ichinaihirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205